

2021年8月13日

各 位

会社名 フィーチャ株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 脇 健一郎
(コード番号：4052 東証マザーズ)
問合せ先 執行役員 CFO 管理部長 立花 嵩大
(TEL.03-6907-0312)

<マザーズ>投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせします。

記

○開催状況

公開日時 2021年8月13日(金) 15:30

開催方法 決算説明動画のオンライン配信

動画掲載場所 当社ホームページ (URL：https://youtu.be/i_ItZ95NgcU)

説明会資料名 2021年6月期 通期決算説明資料

【添付資料】

投資説明会において使用した資料

以 上

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

2021年6月期 通期決算説明資料

フィーチャ株式会社（東証マザーズ4052）

2021年8月13日

1. 業績ハイライト
2. 会社及び事業の概要
3. 2021年6月期（通期）決算概要
4. 今後の業績予想と成長戦略

Appendix

- ・技術／製品 OVERVIEW
- ・技術／製品の適用事例
- ・SDGsに関する取り組み
- ・四半期決算情報

本資料の数値はすべて連結ベースで記載しております。

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

1. 業績ハイライト

2. 会社及び事業の概要

3. 2021年6月期（通期）決算概要

4. 今後の業績予想と成長戦略

Appendix

- ・技術／製品 OVERVIEW
- ・技術／製品の適用事例
- ・SDGsに関する取り組み
- ・四半期決算情報

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

2021年6月期 業績サマリ

売上高 **260**百万円（前期比△**38.0%**）、営業損失 **64**百万円（前期は営業利益**98**百万円）
 （売上高内訳）

- ・受託開発収入 **114**百万円（前期比△**59.8%**）
- ・ライセンス収入 **145**百万円（前期比+**8.7%**）

要因サマリ

マイナス要因

1. 先行開発案件の中断

想定以上の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、顧客メーカーの先行開発予算が縮小

2. 量産開始時期の遅延

新車向け車載カメラ案件の量産開始時期が翌期に遅延

プラス要因

1. 既存量産案件の安定したライセンス収入

既存ドラレコ案件が安定したライセンス収入を支える

2. 新規量産案件の獲得

- ・大手自動車メーカーから新規受注獲得
- ・新規ドラレコ案件の量産開始

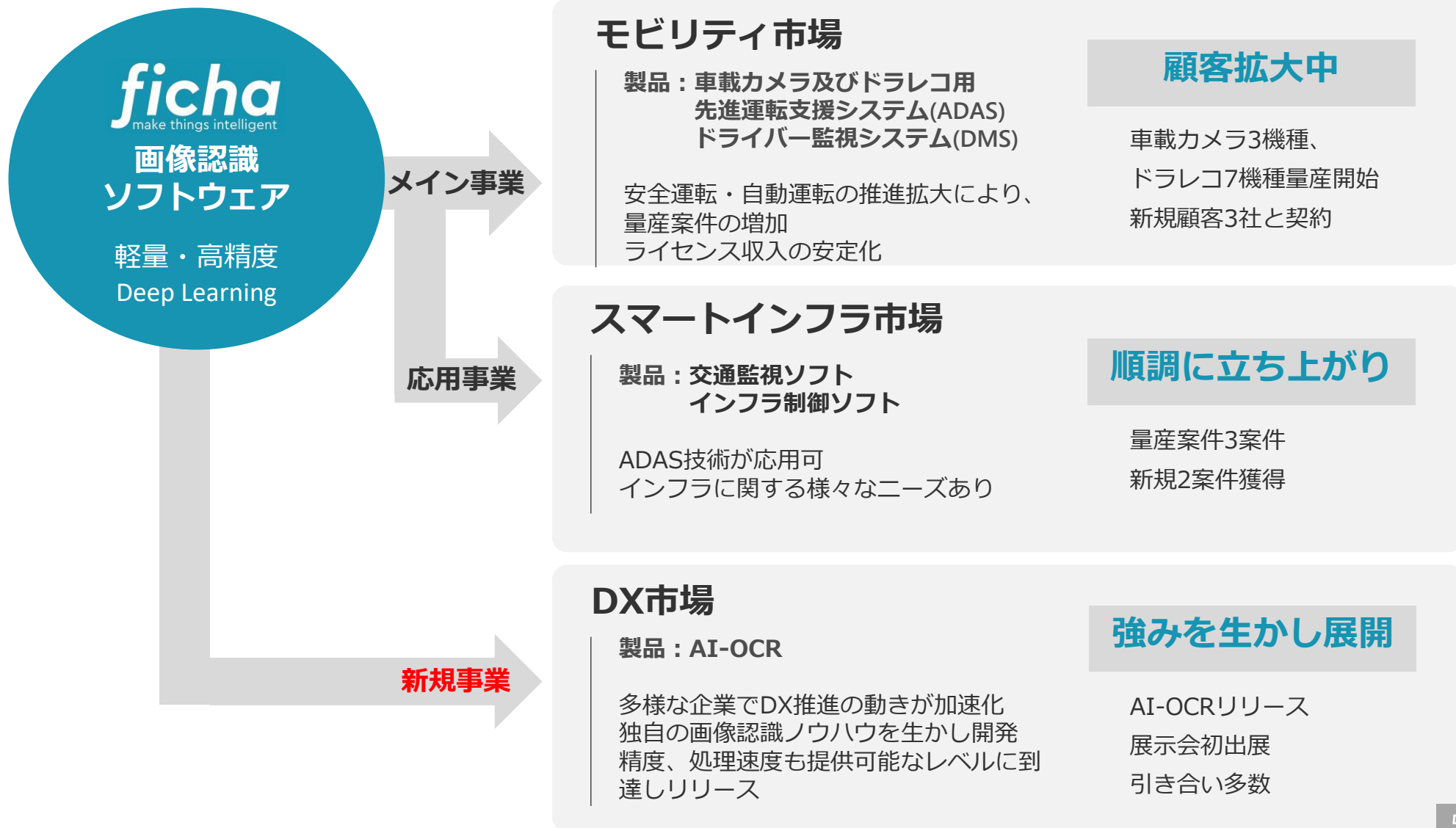
3. 新市場の立ち上がり順調

- ・スマートインフラ案件（新規2案件獲得）
- ・AI-OCRリリース開始



売上減はコロナによる先行開発の予算削減の影響で一時的
 新規量産案件の獲得・新市場開拓といった成長戦略は引き続き継続

既存ビジネスの着実な拡大と新規事業リリース



1. 業績ハイライト

2. 会社及び事業の概要

3. 2021年6月期(通期)決算概要

4. 今後の業績予想と成長戦略

Appendix

- ・技術／製品 OVERVIEW
- ・技術／製品の適用事例
- ・SDGsに関する取り組み
- ・四半期決算情報

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

1

画像認識ソフトウェアに特化

車載カメラやドライブレコーダー向けADAS、DMSソフトウェア開発に注力しています。豊富なノウハウを蓄積し、更なる進化を遂げます

2

エッジAI ソフトウェアラインナップ

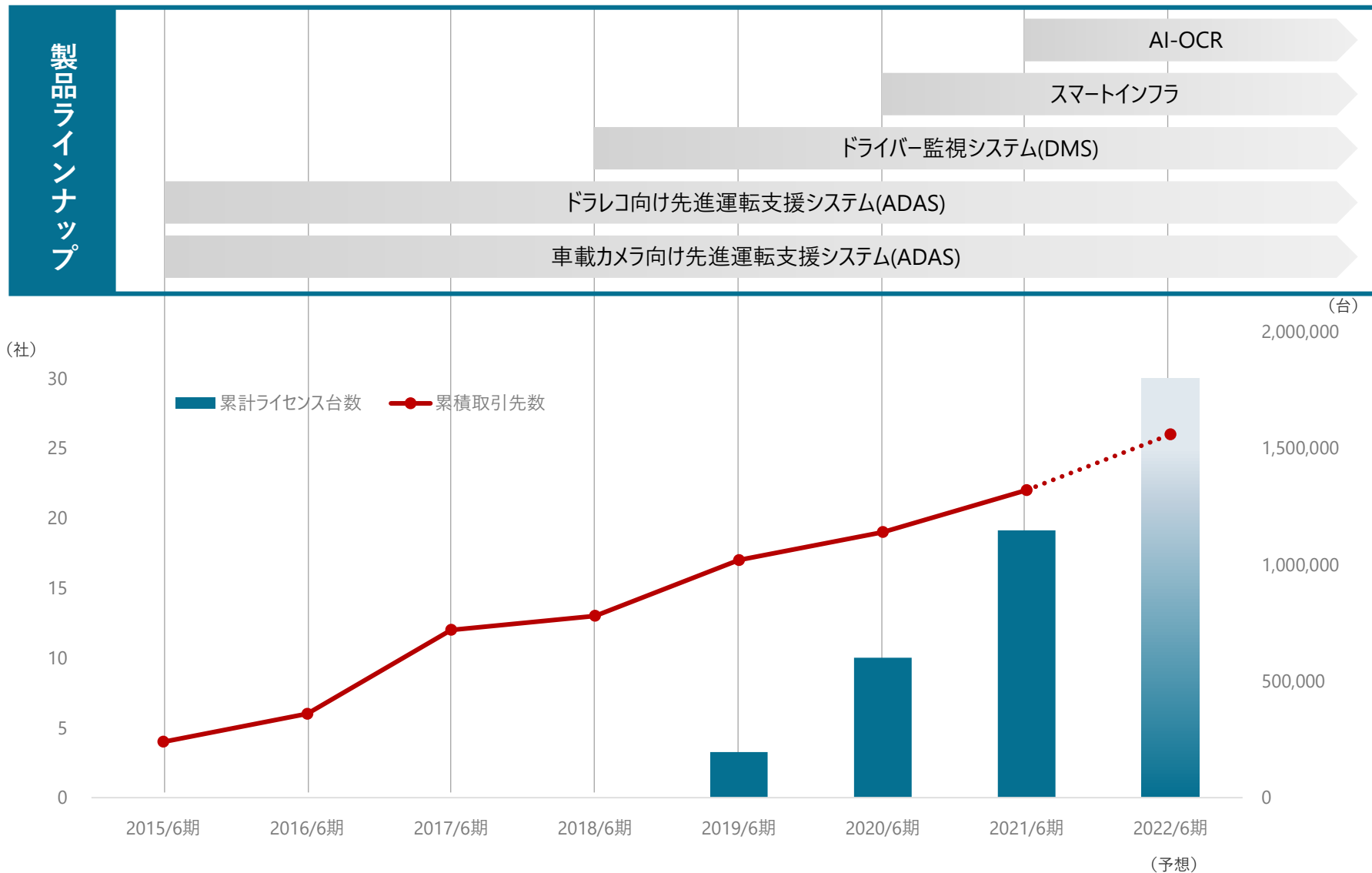
顧客のニーズに沿って開発した豊富なソフトウェアラインナップを有しています。ADAS（先進運転支援システム）とDMS（運転手監視システム）いずれも提供可能です

3

車載、ドラレコへの量産実績多数

当社の画像認識ソフトウェアは、その実装性能を評価され、車載カメラやドライブレコーダーに採用され、多数の製品で量産化されています。

累積取引先数と累計ライセンス台数の推移



ADAS&DMS ラインナップが充実

(先進運転支援システム)(ドライバー監視システム)



製品ラインナップ一例

種類	検知対象	機能
ADAS	車両検知	前方車間距離
		衝突警報
	車線検知	低速時追突警報
		車線逸脱警告
	横断歩道検知	一旦停止無視
	歩行者検知	歩行者検知
DMS	信号検知	信号無視検知
	標識	速度超過警告
		一時停止不停止検知
	居眠り	居眠り運転検知
	脇見	脇見運転検知
その他	危険動作検知	携帯電話操作/通話検知
		喫煙検知
	顔認証	運転手の顔認証
その他	プライバシーマスキング	
	看板OCR	

POINT 01 「軽量」かつ「高精度」

KITTI* ベンチマークテスト歩行者検出1位

汎用SOCで動作可能な軽量ディープラーニング

POINT 02 豊富なラインナップ

ADAS フロントカメラ、サラウンドカメラ向け先進運転支援

DMS 居眠り、脇見、危険運転等の検知

プライバシーマスキング、看板OCR

POINT 03 量産実績多数

累計ライセンス台数100万台を突破

国内Tier1向け車載カメラ用IP量産開始

■市場の状況

ドラレコの高機能化やドラレコのデータ活用ニーズが拡大
自動運転時代へ向かい、運転手監視も大きなニーズ

■ビジネスの状況

処理の軽さ及びドラレコ・車載カメラへの多数の量産実績を
評価いただき、新規顧客が拡大

量産案件が積み重なり
モビリティ事業は順調に成長

* 世界最大規模の車載用ベンチマークテスト「The KITTI Vision Benchmark Suite」2020年4月時点

交通監視、インフラ制御に画像認識技術のニーズ大

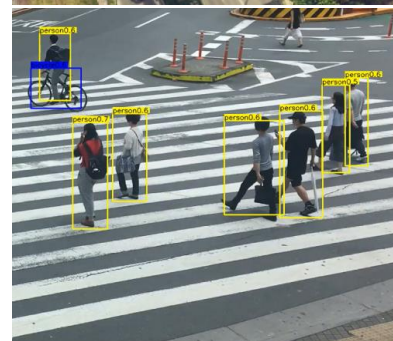
POINT 01 モビリティ技術の応用

車載用画像認識ソフトウェアで培った豊富な開発実績や
技術・ノウハウをスマートインフラ向けへ応用

- ・ ADAS技術：交通監視、インフラ制御、人流解析 etc.
- ・ DMS技術：個人認証、デジタルサイネージ etc.

POINT 02 個人情報・プライバシーにも配慮

ビッグデータ解析にあたり取得・保管する情報への配慮が必要
個人情報保護の観点から、**自動マスキング技術**の利用ニーズ増加
クラウドだけでなく、**エッジ処理**も可能



■市場の状況

交通監視やインフラ制御に大きなニーズ
5Gの普及に伴い、世界的に市場が急拡大

■ビジネスの状況

複数案件の量産に向けた開発が進行中

現在、複数の
量産案件が進行中

当社独自のAI技術 ⇒ 高精度なAI文字認識エンジンを開発

POINT 01 活字、手書き文字を高精度で認識

文字領域を高精度に自動検知

最先端の文字認識アルゴリズムを活用

大規模な学習データセットで学習

POINT 02 ライブラリ提供可能

自社クラウド/サーバ内でライブラリ利用可能

クラウドが使用できないケースにも対応可能

特定の書類に特化したサービス構築可能

POINT 03 様々な用途に応用可能

他の当社画像認識技術と組み合わせることで、

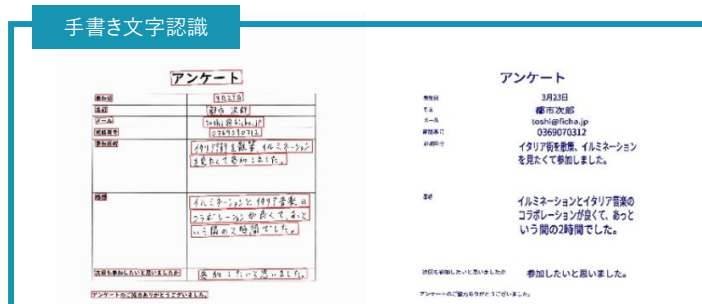
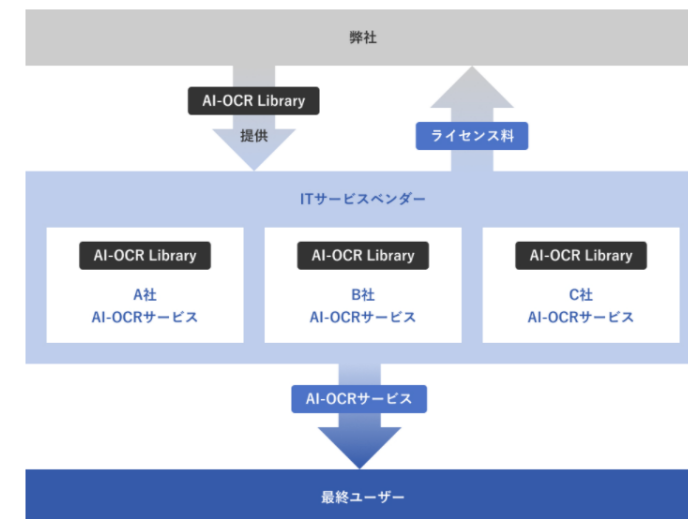
様々な用途に応用可能

■ 市場の状況

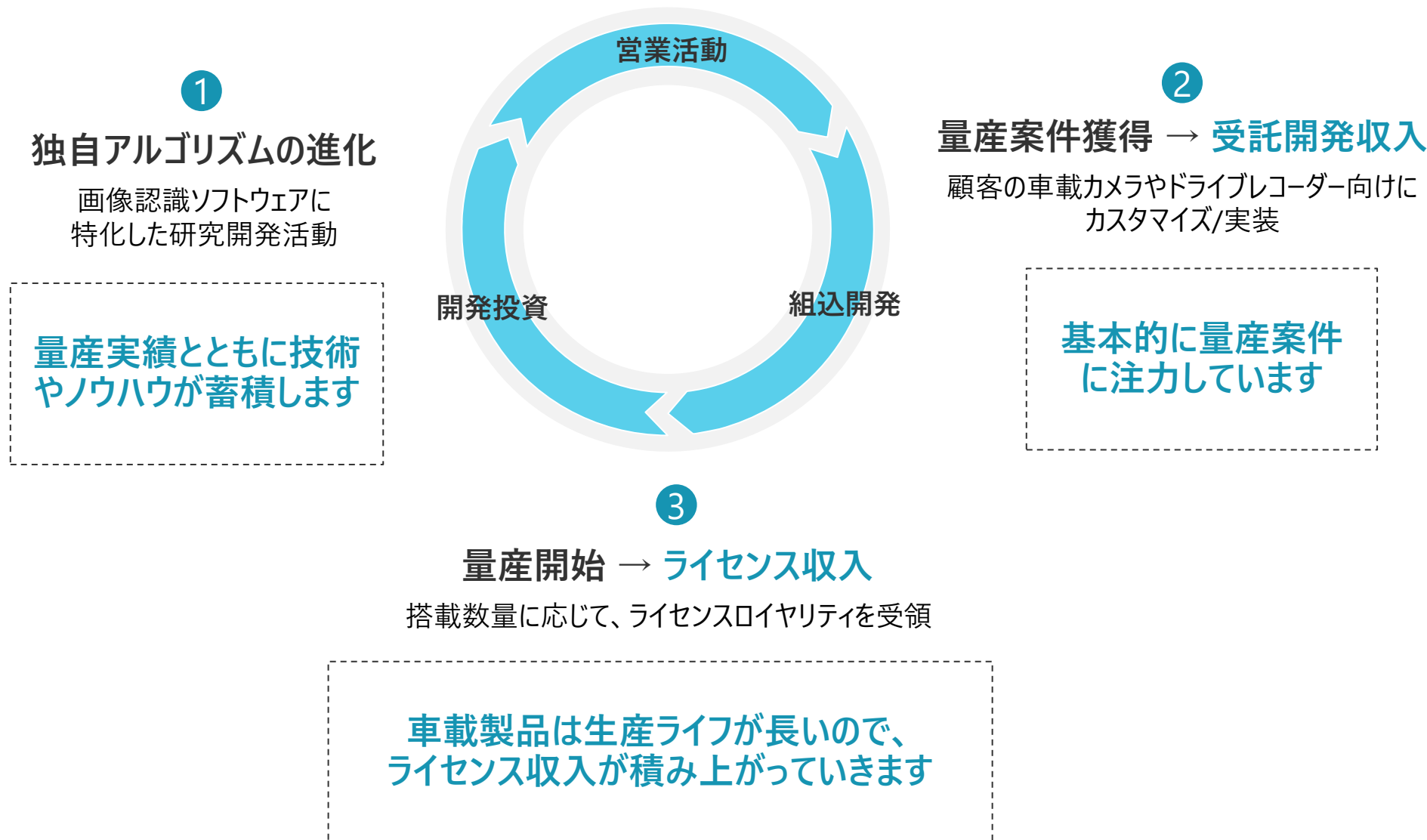
コロナ禍においてペーパーレス化と業務自動化(DX化)が一層進む
AIによる認識精度向上に伴い、OCR導入が拡大

■ ビジネスの状況

2021年4月の展示会に初出展、引き合い多数



DX市場へ新規参入
事業の新しい柱として期待



1. 業績ハイライト
2. 会社及び事業の概要
3. 2021年6月期(通期)決算概要
4. 今後の業績予想と成長戦略

Appendix

- ・技術／製品 OVERVIEW
- ・技術／製品の適用事例
- ・SDGsに関する取り組み
- ・四半期決算情報

Make Things Intelligent

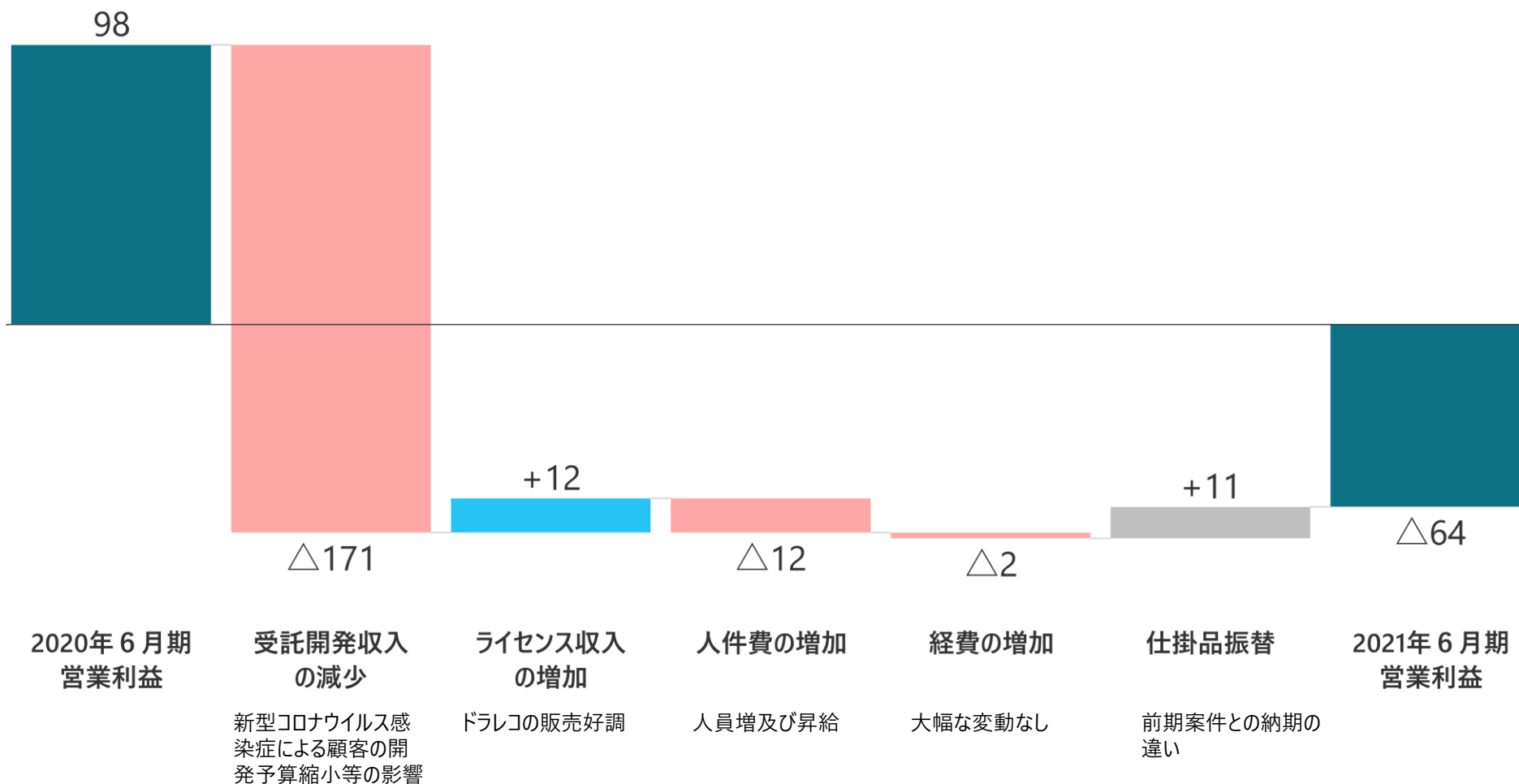
あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

(単位：百万円)

	2020年6月期	2021年6月期			
	前期実績	当期実績	前期比	当期予想	予想比
売上高	419	260	△38.0%	274	△5.2%
うち、受託開発収入	285	114	△59.8%	124	△7.9%
うち、ライセンス収入	133	145	+ 8.7%	149	△3.0%
売上原価、販管費	321	324	+ 1.1%	331	△2.1%
うち、人件費	193	205	+ 5.8%	205	△0.2%
うち、経費	123	125	+ 1.0%	126	△1.4%
うち、仕掛品振替	4	△5	—	—	—
営業利益	98	△64	—	△57	△13.0%
経常利益	90	△62	—	△55	△13.6%
親会社株主に 帰属する当期純利益	66	△62	—	△54	△14.1%

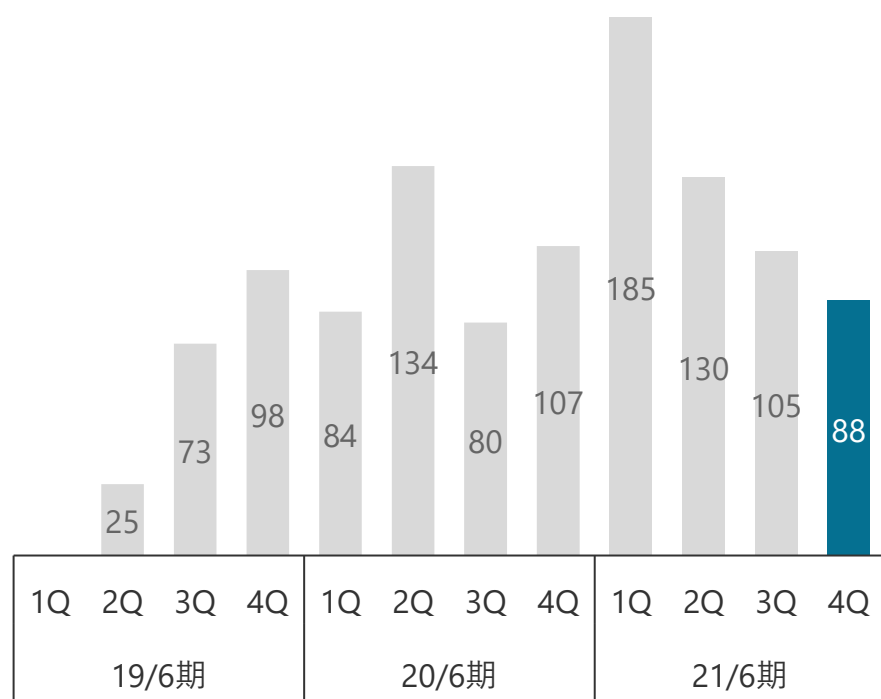
*2021年6月期の予想は、2021年2月12日に開示した業績予想修正値としております。

(単位：百万円)

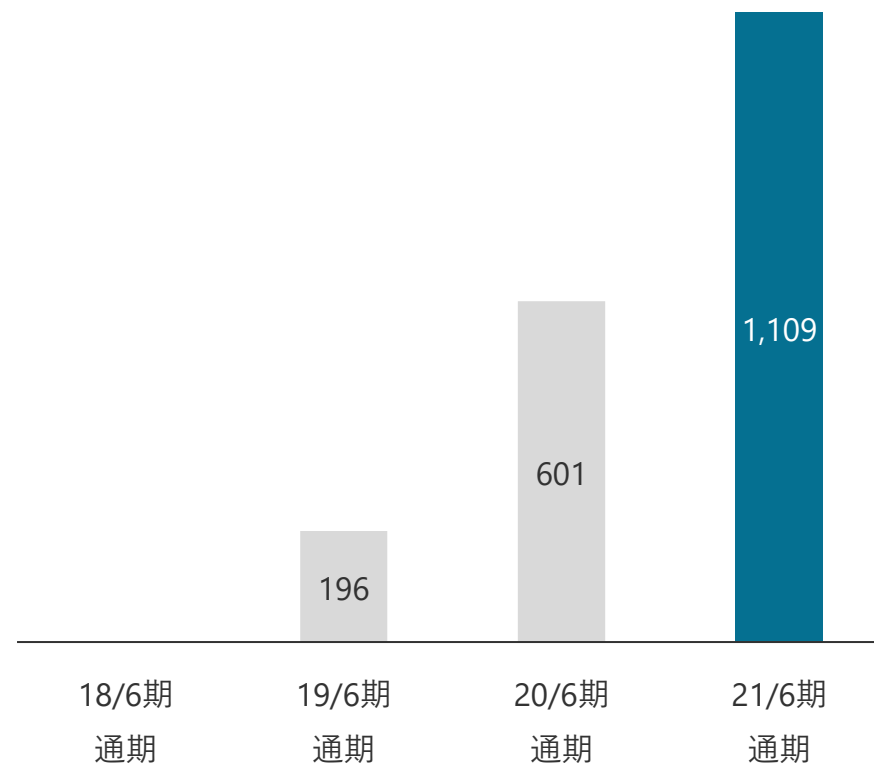


ドライブレコーダーの販売状況が引き続き好調も、半導体不足の影響で4Qは量産抑制

四半期別量産台数 (千台)



累計量産台数 (千台)



(単位：百万円)

	2020年6月期末	2021年6月期末	
	前期実績	当期実績	前期末との差異
流動資産	527	508	△19
現金及び預金	419	451	+32
売掛金	100	35	△65
その他	7	20	+13
固定資産	50	36	△14
資産合計	578	544	△33
負債合計	53	37	△15
純資産合計	525	506	△19
負債・純資産合計	578	544	△33

(単位：百万円)

	2020年6月期	2021年6月期	
	前期実績	当期実績	前期との差異
営業活動によるCF	36	△6	△42
税金等調整前当期純利益	90	△62	△153
償却費	19	16	△2
売上債権の増減額	△57	65	+122
その他	△16	△25	△9
投資活動によるCF	△18	△5	+12
財務活動によるCF	62	43	△19
現金等の換算差額	△0	1	—
現金等の増減額	79	32	—
現金等の期末残高	419	451	+32

1. 業績ハイライト
2. 会社及び事業の概要
3. 2021年6月期(通期)決算概要
4. 今後の業績予想と成長戦略

Appendix

- ・技術／製品 OVERVIEW
- ・技術／製品の適用事例
- ・SDGsに関する取り組み
- ・四半期決算情報

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

2022年6月期業績予想

- ・受託開発収入は、2021年6月期の新型コロナウイルス感染症の影響から回復傾向
- ・ライセンス収入は、大手自動車メーカーの新車向け車載カメラ案件量産開始に伴い増加見込み
- ・優秀な人材確保のため人件費等が増加するも、売上高増加が上回り黒字転換

(単位：百万円)

	2021年6月期	2022年6月期	
	当期実績	翌期予想	当期比
売上高	260	421	+61.9%
うち、受託開発収入	114	193	+68.1%
うち、ライセンス収入	145	228	+57.0%
売上原価、販管費	324	406	+25.0%
うち、人件費	205	262	+27.8%
うち、経費	125	140	+13.5%
うち、仕掛品振替	△5	2	—
営業利益	△64	15	—
経常利益	△62	15	—
親会社株主に帰属する当期純利益	△62	13	—

1

車載ソフトウェア事業の更なる拡充

今後もニーズの拡大が予想される車載用画像認識ソフトウェアの開発及び販売を進めることにより、事業の拡大と高い成長性を継続する方針です。

2

ディープラーニング技術の開発加速

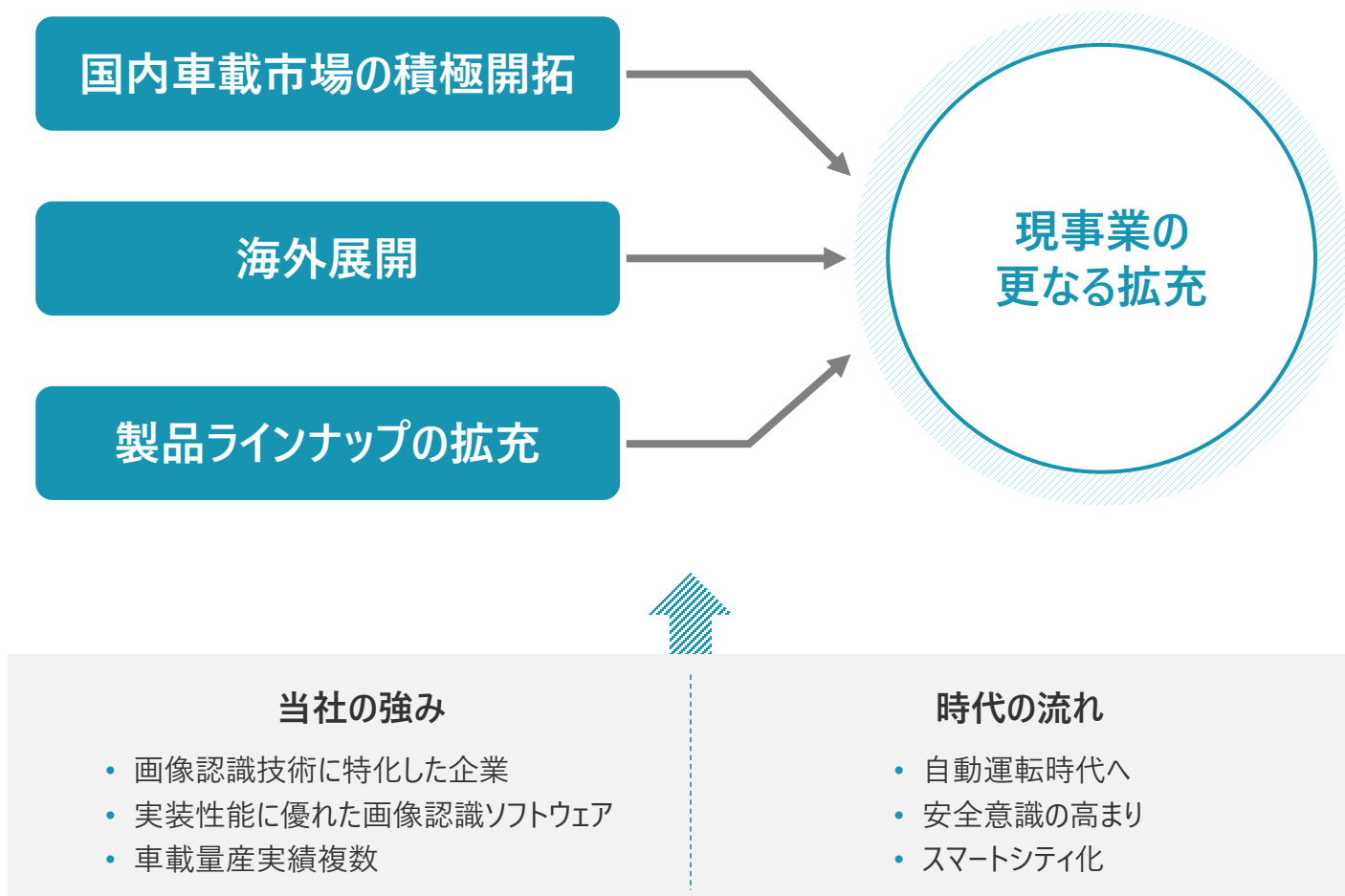
今後、一層の高性能化が期待される画像認識分野において、ディープラーニングは必要不可欠な技術となります。当社では、ディープラーニング技術の研究開発を促進し、新規案件の獲得に努めます。

3

スマートインフラ、AI-OCR市場への展開

今後拡大が見込まれる、インフラやDX等の市場において、画像認識技術が一層普及してくるものと考えられます。当社としても、これらの分野にも積極的に進出し、事業の拡大を図っていく方針です。

- 今後も拡大する車載用画像認識ソフトウェア市場において、引き続き開発/販売を進め、事業の拡大と高い成長性を継続



実用性を重視した研究開発

- 検知、認識、時系列予測技術の更なる進化
- 車載、インフラ、AI-OCR向け応用技術ソリューション

コア技術×ノウハウ×データベース×AutoDL による開発の自動化

多数の量産案件で蓄積したコア認識技術、ノウハウ

+

自社で構築した画像データベース

+

独自のAutoDL技術（自動化開発プラットフォーム）

- 案件開発プロセス（アノテーション⇒モデル設計⇒学習⇒検証）を自動化



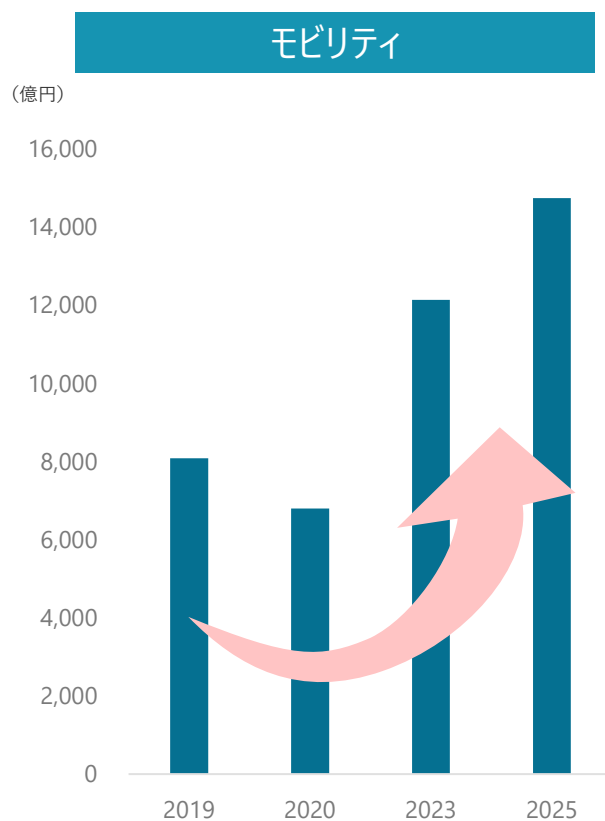
迅速かつ高品質なマス・カスタマイゼーションを実現

（機能組み合わせ、カメラ、ハードウェアなど）

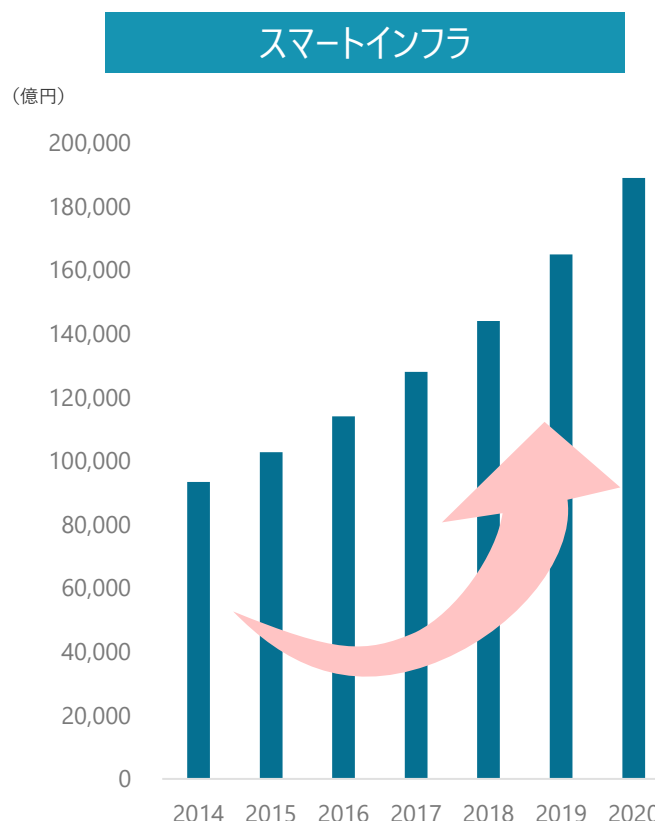
- 車載市場で培った技術力を、今後伸長するインフラ市場、DX市場などに積極的に進出し、事業の拡大を図っていく方針です。

	モビリティ	スマートインフラ	DX (AI-OCR)
キーワード	自動運転 運転支援 運転手監視	スマートシティ 自動運転対応交通網 ホーム、介護支援	手書き文字、帳票対応 RPA 各種アーカイブ
技術的優位性	<ul style="list-style-type: none"> • ADAS、DMSラインナップ • 精度と軽さが両立する技術 • 量産実績100万台 	<ul style="list-style-type: none"> • 交通監視 • 道路状態検知 • 照明制御 など応用可能な技術を保有	<ul style="list-style-type: none"> • 車載で培った文字検知精度 • 処理の軽さ • ライブラリ提供ビジネスモデル
足元の状況	<ul style="list-style-type: none"> • 既存顧客の量産開始 • 新規顧客の増加 • ライセンス収入増加へ 	<ul style="list-style-type: none"> • 新規案件2件 • 量産化へ向けて開発中 	<ul style="list-style-type: none"> • 2021年4月に展示会初出展 • 引き合い多数 • 性能について好評価

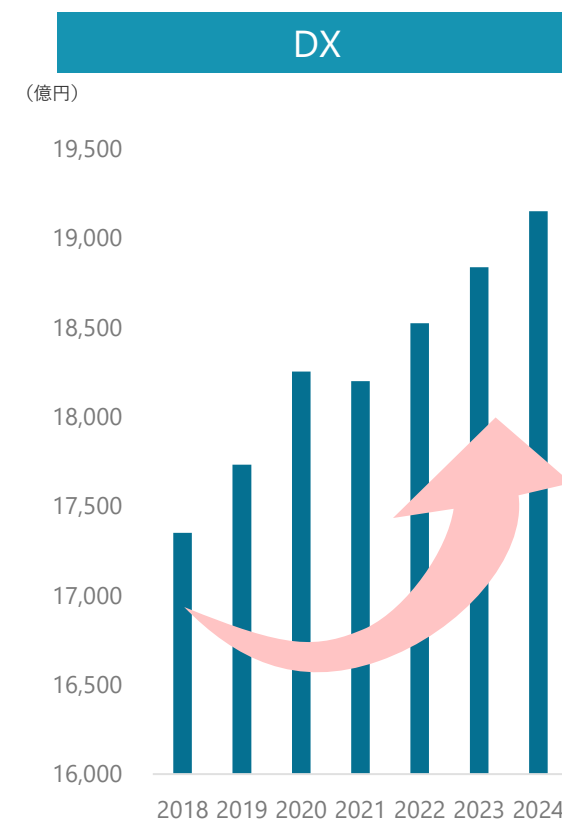
AI化時代の到来によりターゲットとする市場規模は今後も急拡大が見込まれる



ADAS/自動運転用センサの世界市場規模予測*1



スマートホーム・スマートシティ関連事業分野の市場予測*2

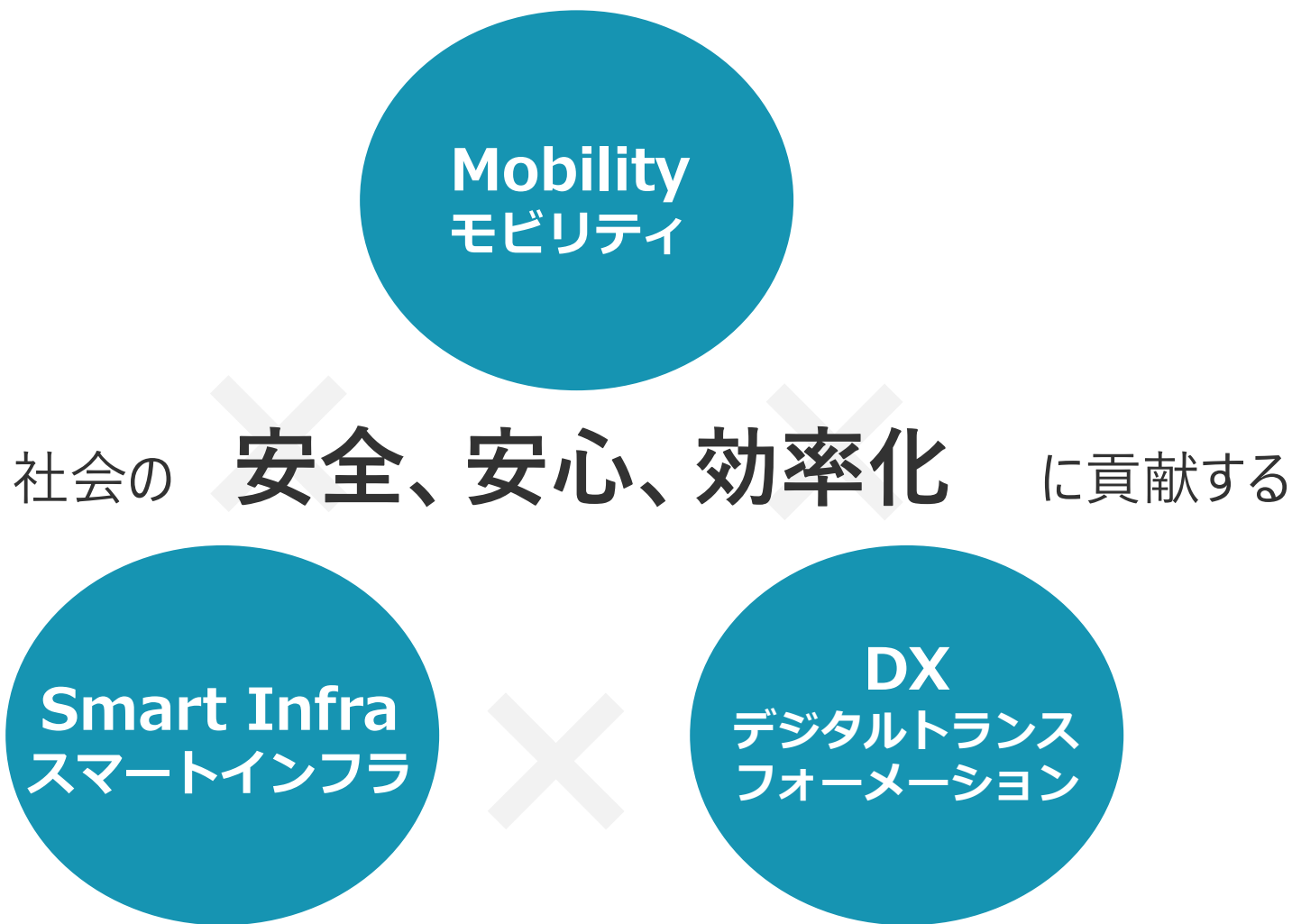


国内非IT系BPO市場規模推移予測*3

*1 矢野経済研究所「ADAS/自動運転用センサ世界市場に関する調査（2020年）」 *2 総務省「スマートIoT推進戦略」

*3 矢野経済研究所「2020-2021 BPO(ビジネスプロセスアウトソーシング)市場の実態と展望」

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、



1. 業績ハイライト
2. 会社及び事業の概要
3. 2021年6月期（通期）決算概要
4. 今後の業績予想と成長戦略

Appendix

- ・技術／製品 OVERVIEW
- ・技術／製品の適用事例
- ・SDGsに関する取り組み
- ・四半期決算情報

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

車載・ドライブレコーダー向け画像認識ソフトウェアソリューション

精度と実装性を兼ね備えたアルゴリズム

画像認識ソフトウェア技術

ディープラーニング(DL)

非ディープラーニング

画像処理

+

車載用ソフトウェア特有のノウハウ

+

LSIへの実装技術



安全、安心、効率化に貢献する多様なソフトウェアラインナップ

モビリティ検知認識

- 歩行者検出
- 二輪車検出
- 縁石検出
- 標識認識
- 信号認識
- 車線検出
- 四輪車検出
- 横断歩道検出
- フリースペース検出



顔検知認識

- 顔特徴点検知
- 顔検知
- 顔向き推定
- 顔認証
- 視線推定
- 顔属性推定
(マスク、眼鏡、性別、年齢、表情)



HMI*検知認識

*ヒューマンマシンインターフェイス

- ジェスチャー認識
- 全身姿勢推定
- 危険動作認識
(喫煙、ドリンク、電話)





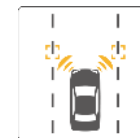
『汎用LSIで動く』軽量ADASソフト

歩行者、車両、バイク、標識、車線などを高精度に検出



歩行者衝突警報 (PCW)

- 歩行者、自転車の検知
- 歩行者衝突警報



車線逸脱警報 (LDW)

- 車線と車両間の位置を検出
- 車線逸脱、ふらつき警報



前方車衝突警報 (FCW)

- 前方車両の検知
- 前方車衝突警報
- 衝突被害軽減ブレーキ



標識検知 (TSD)

- 標識検出を利用した交通違反の検知



『汎用LSIで動く』ディープラーニング

車内カメラによってドライバーの運転状態を監視し、危険運転・事故防止を目的としたシステム

特別なハードウェアを必要とせず、汎用CPUで実現可能



顔認証

- ドライバーを識別し、シート位置を自動調整



危険運転検出

- 運転中の電話、飲食、喫煙を検出



よそ見運転

- 顔の向き等から運転中のよそ見を検出



居眠り運転検出

- 目の状態、顔の角度、あくび頻度等から居眠り状態を検出

フィーチャグループでは、持続可能な開発目標（SDGs）達成のためには企業による貢献が不可欠であると認識しています。そのため、SDGsの全17ゴールのうち特に関連が深い2ゴールを優先ゴールとして特定しました。



✓ 当社ソフトウェアを世に広め安心・安全に貢献

自動運転時代に向かう中、当社も画像認識技術に更に磨きをかけ、社会の安全や快適、効率に貢献していきます。

✓ 次世代技術の開発促進

イノベーション創出機会を促進するため、社内の環境づくりと、外部ステークホルダーとの連携に注力しています。

(単位：百万円)

	2020年6月期				2021年6月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	62	101	147	108	66	51	74	67
うち、受託開発収入	36	58	117	73	22	16	43	32
うち、ライセンス収入	26	42	29	35	43	35	31	34
※売上原価	28	23	34	32	12	13	29	21
売上総利益 (粗利率)	32 51.3%	79 78.1%	113 76.9%	75 70.1%	53 81.0%	38 74.1%	45 60.2%	45 67.6%
※販管費	52	50	43	55	64	61	54	67
うち、研究開発費	16	14	6	10	24	22	14	28
営業利益 (営業利益率)	△18 △29.3%	26 26.2%	70 47.5%	20 18.8%	△10 △15.8%	△22 △44.2%	△9 △12.9%	△21 △31.8%

※原価＋販管費合計	81	74	77	87	76	74	84	88
うち、人件費	49	49	48	47	47	48	51	56
うち、経費	28	28	29	37	30	29	32	31
うち、仕掛品振替	3	△2	△0	3	△1	△3	0	0